

第14回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

(開催要領)

開催日時：平成27年8月24日(月) 11時00分～12時00分

場 所：直方商工会議所 4階 大ホール

出席委員：委員総数 29名 出席委員 18名

オブザーバー 11名

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、永富会長が挨拶を述べた後、議長となって議事に移る。

(1)平成26年度 事業報告・収支決算について

事務局より、平成26年度 事業報告が下記の通り行われた。

【平成26年度 事業報告】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地活性化基本計画の事業評価
3. 「中心市街地活性化基本計画の取組みに対する意見書」の提出
4. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成26年度直方市中心市街地活性化協議会収支決算について報告された後、大里監事より監査報告がなされた。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なくこれを承認した。

(2)平成27年度 事業計画(案)・収支予算(案)について

事務局より、平成27年度 事業計画(案)について説明が下記の通り行われた。

【平成27年度 事業計画(案)】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 民間事業への支援
3. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成27年度収支予算(案)について提案がなされた。基本計画の計画期間終了後の取組みについて質疑があり、その件については次の議題で市より報告されることが説明された。また、前年予算から事業費が減少し会議費が増加していることについて質疑があり、中心市街地活性化基本計画の策定が進めば協議会の開催が必要になるため会議費を増額していることが説明された。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なく承認された。

(3) 中心市街地活性化事業の取組状況報告及び効果の検証について

直方駅周辺整備事業及び中心市街地活性化事業の効果の検証について、直方市商工観光課より資料の「平成26年度中心市街地活性化事業の効果の検証」に基づき、以下の通り説明がなされた。

目標①の「中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上」については通行量の平成26年度実績は4,615人と対前年減少、推察したトレンド値をさらに下回っており歩

行者の増加のための取組みが必要である。目標②の「歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による交流人口の増加」については「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録の影響もあって集客が増加しており、こうした流れを隣接する商店街地域の活性化に結び付けたいとの報告がなされた。また、直方市都市計画課からは直方駅周辺整備事業について山部口広場の駐輪場の屋根の設置が本年度完了すれば事業完了するとの報告がなされた。引続き、直方市政策推進課より新たな基本計画の策定について、前回の基本計画については一定の評価をしており、引き続き、「まちひとしごと創生法」による「地域版総合戦略」の中でまちづくりを検討していく。市として基本計画策定は必要と考えており、昨年、ご意見をいただいた「健幸都市推進計画」とも連動して進めていきたい。また、活性化事業については計画にとらわれず可能なものは随時進めていくとの報告がなされた。

報告に対し、目標①の「中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上」の実績値についてトレンド値を下回っているということは何もしなかった方がよかったというように見えるが、根本的な原因の検証ができているのかとの質疑があり、何もしなかった方がよかったということはなく一定の評価はしているもののトレンド値を下回っていることの根本原因の検証は引き続き行っていくとの説明がなされた。

また、筑豊電鉄の延伸及び西鉄バスセンターの跡地利用について質疑があり、筑豊電鉄の延伸については事業効果調査報告書により効果として1日当たり2,200トリップ（トリップは延利用者数と同意）の増加が見込めるとの報告がなされており、事業化については現状、事業費調査等を行っており検討中であること、また、西鉄バスセンターの跡地利用については市として懸案事項であった保健福祉センターの設置による賑わいの創出を検討しており、民間事業者と調整を行っている状況であるとの説明がなされた。

駅前のサンリブの動向について質疑があり、(株)サンリブ落合課長より、現状サンリブ直方駅前店の閉鎖については検討していない、知古に確保している利用地への店舗建設については上層部の判断を待っている状況であるとの説明がある。これに対して、直方市にサンリブを含めた区画整理事業の可能性が確認されたが、直方市では考えていないとの回答であった。

また、直方市では観光振興を進めているが駅前に観光バスの乗降場が設置されていないとの指摘があり、これに対し、JR直方駅東口駅前広場は路線バス・コミュニティバスの乗降場になっているため設置が難しかったので、山部口側駅前広場に1台分が確保されており、通常は車止めをしているが、予約制で用地管理課宛に申し込めば利用可能になるとのことが報告された。

以上により、議事が終了したので12時00分閉会した。